

科目名： 児童英語教授法演習

1. 担当教員

・名前：遊佐 重樹（ゆさ しげき）

2. 授業の目的

(1) 授業の目的

児童に英語を教える技術を身につけることを目的とする。

(2) 到達目標

- ① 児童に英語を教える際に登場する単語を正確に発音できる。
- ② 児童に英語を教える際に教室内で使用する指示表現 (Classroom English) を覚える。
- ③ 児童への一般的な英語教授法を理解し、実践する。

(3) ディプロマポリシーとの関連

人間発達学科のディプロマポリシー「1. 子どもの発達についての知識と支援の技術を有している。2. 子どもの発達に対する強い関心とその支援に熱い情熱を持っている。3. 保育・教育についての実践的指導力を身につけ、保育・教育をとおして社会貢献ができる。4. 子ども期の発達についての深い理解と技能を身につけ、保育士または幼稚園教諭としての十分な知識、スキル、倫理を身につけている。」に基づき、特に児童に英語を教える技術の獲得を目指す科目である。

3. 授業の概要

前期開講の「児童英語概論」の知識を基に、児童に英語を教えるための演習を行う。児童英語教育の現場での実習に備えて、学生が交代で教員役、児童役になって模擬授業を行い、実践的に技術を身につけていく。

4. 授業計画と予習・復習の内容及び必要な時間

回	月日	テーマ・内容	予習・復習	備考
1		・オリエンテーション…授業の進め方		
2		・単語&教室で使う英語表現① ・100円ショップの商品を用いて①	(予習) このテーマについて図書館等で調べる。 (復習) 授業中に興味を抱いたことについて図書館等で調べる。	
3		・単語&教室で使う英語表現② ・100円ショップの商品を用いて②	//	
4		・単語&教室で使う英語表現③ ・100円ショップの商品を用いて③	//	
5		・単語&教室で使う英語表現④ ・100円ショップの商品を用いて④	//	
6		・テスト (単語&教室で使う英語表現①~④)		
7		・単語&教室で使う英語表現⑤ ・模擬授業①	//	
8		・単語&教室で使う英語表現⑥ ・模擬授業②	//	
9		・単語&教室で使う英語表現⑦	//	

	・模擬授業③	
10	・単語&教室で使う英語表現⑧ ・模擬授業④	//
11	・テスト（単語&教室で使う英語表現⑤～⑧）	
12	・単語&教室で使う英語表現⑨ ・模擬授業⑤	//
13	・単語&教室で使う英語表現⑩ ・模擬授業⑥	//
14	・単語&教室で使う英語表現⑪ ・模擬授業⑦	//
15	・単語&教室で使う英語表現⑫ ・模擬授業⑧	//
	・テスト（単語&教室で使う英語表現①～⑫）	授業評価実施
予習・復習	教科書とプリントを使った予習が必要。授業前に必ず該当するプリントと教科書のページに目を通して、準備してくる。復習では、その日のうちにノートをまとめ、疑問点を調べて加筆しておくこと。目安の時間として、授業 1 コマにつき、予習 120 分、復習 120 分が必要。	

※ 授業の展開によっては変更の可能性があります。変更の場合には随時お知らせします。

5. 評価方法

- (1) 受講態度(30%)
- (2) 100円ショップの商品を使った授業アイデア(20%)
- (3) 模擬授業(30%)
- (4) テスト(20%)

6. 履修上の注意

- ・受講に際して、心配や不安なことがある場合は、必ず2回目の授業までに担当者に相談してください。事情によっては、レポートなどの代替課題を課すなどの、特別な配慮を行う場合があります。
- ・プリント教材を整理保管するため、クリアファイルを用意すること。